

BMW MINI 2212S

ラフィックス専用ショートボス 取り付け説明書

装着前に必ずお読み下さい。

- 本製品は弊社製品：ラフィックス及びGTC：を車両に取り付ける為の専用ショートボスです。それ以外での用途にはご使用にならないで下さい。
- エアバック（以下：SRS）の警告灯を消灯させるためのダミーハーネスは、消灯を100%保障する物ではありません。車両の電気的特性により消灯できない場合、また後日点灯してしまう場合があります。ご了承下さい。
- 運転席SRSを取り外し警告灯が消灯出来ても、その他のSRS又はそれに関連した装置の作動を保障する物ではありません。
- SRS装着車には任意保険加入時に割引料金が自動的に適用されております。ご加入の保険会社に契約内容の変更を必ず連絡してください。連絡を怠ると、保険金等支払を受けられない場合があります。
- SRSを取り外すことにより、安全性が低下する場合があります。本製品をご使用の際はリスクを十分理解し、自己責任の元にご使用ください。
- お取り付けの前に純正ハンドルの裏側と、ボスの裏側の形状とをよく見比べて、大きな形状の差が無いか確認してください。稀に車両側部品のばらつき等で適合しない物があります。適合しない物を無理に取り付しますと、車両部品の破損、運転時の事故に繋がる恐れがあります。また、取り付け作業は正しい手順・方法で行わないとSRSが爆発する危険性があります。
- 重要保安部品になりますので、しかるべき知識を保有する販売店又は専門業者に取り付けを依頼することを、強くお勧めします。
- オーディオリモコン装着車はその機能が使用出来なくなります、本体側で操作して下さい。

当製品は2ピース構造になっております、上部と下部はボルトで工場出荷時に規定のトルクで締め付けてあります。絶対に緩めないで下さい。

装着手順

1、作業開始準備

装着前にタイヤとステアリングホイールを直進状態にして下さい。

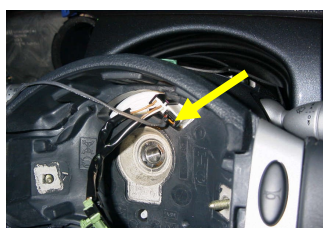
2、バッテリーの+端子を外して下さい。（作業が完全に終わるまで絶対に端子を接続しないで下さい。）

3、純正ステアリングの取り外し方法



純正ステアリングホイールの裏側2ヶ所の穴からトルクスレンチ（T30）を使用してボルトを緩めて下さい。

4、SRSユニットの取り外し



SRS本体モジュールを外し、裏側のSRSソケット2セットとホーン用コネクター（黄矢印）を外して下さい。

取り外したエアバッグには絶対に電気を流さないで下さい。爆発してケガをする恐れがあります。

外したエアバッグはパッド面を上にして電気が流れない場所に保管して下さい。

5、ステアリングの取り外し

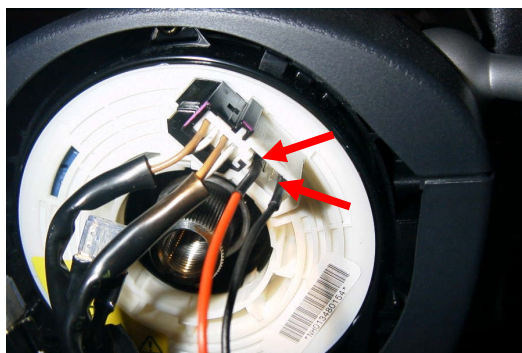
センターボルトを 16mmヘックスソケットで緩め、ステアリングを外して下さい。

6、注意事項



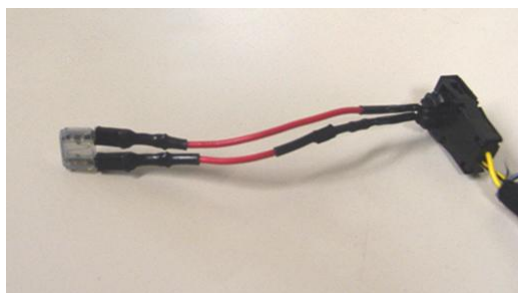
車体側スパイラルは絶対に回さないで下さい、(左右の回転数が決まっています) 又車体側と繋がっているハーネスは外さないで下さい。

7、付属ホーンハーネスをスパイラルケーブルに接続してください。



赤色のコードは向かって一番左に、黒色は一番右に挿入してください。

8、エアバッグにダミーハーネスを接続して下さい。



配線の極性はありません。差し込んで抜けないようにビニールテープなどで固定して下さい。SRS コネクター2 本にそれぞれこの作業を行ってください。

9、ボスの取付け

ボスの TOP マークを真上にして、ボスをステアリングシャフトに挿入してください。

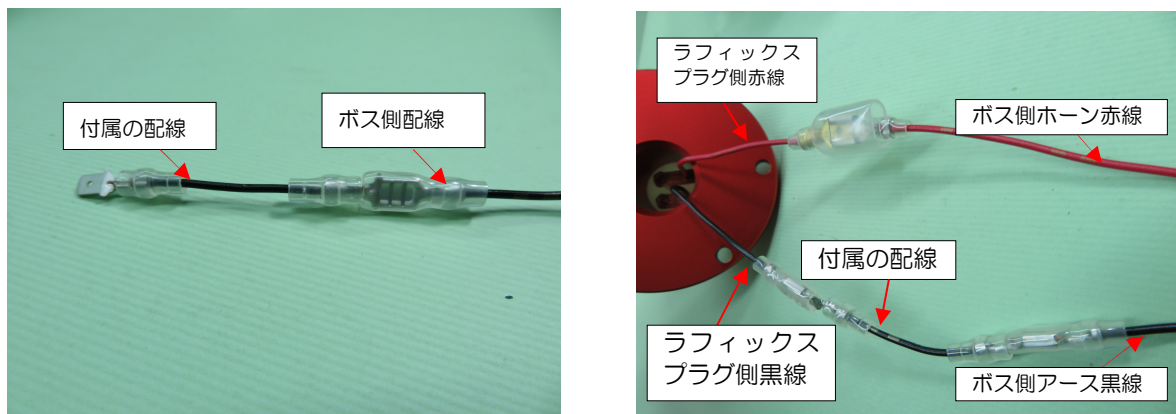
ボス裏面の穴から 7、8、で行った配線類をボスの中に引き入れてください。

10、センターボルト締付け

規定トルクは 30N・mです、締めすぎると車両側の部品を破損する恐れがあります。締めすぎによる破損または事故等の責任は弊社では負いかねます。

11、配線接続

ボスに引き入れた赤と黒の配線と、付属の配線を使用して下図の通りラフィックスIIまたはGTCの配線と接続し、配線はボスの中に収納して下さい。



※ラフィックスとGTCに付属しているアースリングは2枚付属していますがこのボスを取り付ける場合は**プラグ側に使用しません**ので1枚余ります。

12、ラフィックス及びGTCの取り付け

取り付けについてはラフィックス及びGTCの取説を参照に取り付けを行ってください。

13、確認作業

ラフィックス及びGTCの取説を参照にホーンボタンを取り付け、バッテリー端子を接続してホーンが鳴ることを確認し、SRS警告灯が消灯することを確認して異常がない場合はステアリング固定用のネジを締めつけて作業は終了です。

トラブルシューティング

Q：SRSモニターランプが点灯する（消灯しない）

A：作業中イグニッションキーを入れた、ジャンパー線を装着していない、ジャンパー線の接続不良、等。

対策：ジャンパー線の接続を確認後、ディーラーの診断コンピューターで消灯して下さい。

（ジャンパー線が接続されていなかったり、接続不良だと消えません。また、車両の個体差によりどうしても消せない車両もあります。ご了承ください。）

Q：ステアリングのTOPが出ない

A：シャフトスプラインの1山以内のズレはタイロッドで調整します。

対策：ディーラー又は整備工場で調整して下さい。

Q：ステアリングを切ると異音がする

A：コラム内でSRSコネクターが干渉している。

対策：動いているカブラー等をテープ又はタイラップ等で固定して下さい。

株式会社 ワークスベル

〒391-0011 長野県茅野市玉川 8507

TEL0266-79-3761

FAX0266-79-4706

URL <http://www.worksbell.co.jp>